

中期実施計画（h29）の進捗状況に対する委員意見一覧

| 事業No. | 事業名 | 意見 | 事務局案 | 備考 |
|-------|--------------------|--|------|---|
| 1-2-① | 里山再育成事業 | 参加者数は天候により左右されるので、一概に参加数で評価を落とすことは疑問である。開催を通して里山の大切さや里山の再生事業に関する団体の情報交換ができたのであれば評価を「A」にしても良いのではないか。 | △ | 【審議のポイント】 評価に関する統一の見解を審議していただきたい。 ※目標値の達成度と事業内容のどちらに重きをおいて評価するべきか |
| 1-2-③ | ふれあい農園事業 | 本事業と2-2-②、2-5-③事業の連携は事業効果を高めるうえで有効と考えますが、本事業でのたい肥の利用を増やすには、農園利用者によるたい肥使用量を増やす取組がポイントになると思います。それには農園利用者に対する周知にとどまらず、農園利用者に対する補助率かさ上げとか、農園無償利用条件として自家製造たい肥又は2-5-③事業のたい肥の利用を設定し、これを行わない場合は農園の利用料を徴収するなどの具体的な対策をセットで行くことが重要と考えますが、如何でしょうか。 | | |
| 1-2-③ | ふれあい農園事業 | 106区画の貸し出しができれば「A」評価となっている。「A」評価が28年度から続いているので貸出枠を拡大できないのか。また、栽培講習会の内容と参加者数はどれ程だったのか。 | ○ | |
| 1-2-③ | ふれあい農園事業 | 評価Aとなっているが、貸出た区画はすべて適正に利用されているのか。今後の課題に「耕作していない区画を把握し・・・」とあるが、実際に耕作されていない区画があるのなら評価Aとするのは疑問である。 | | |
| 1-2-⑤ | 緑の基本計画の推進 | 保存樹木の枯損木をなくすための何らかの手立てを行っているのであれば、減少したからと言って評価を下げることはないと思う。また、保存樹木の指定条件を教えてほしい。 | △ | 1-2-①と同様 |
| 1-2-⑥ | 二宮せせらぎ公園におけるホタル観賞会 | ホタルの出現数や来場者数で評価を行うことはどうか。ホタルは里山という豊かな自然環境、生態系の結晶といわれている。そこに至るまでのボランティアの皆さんや町としての様々な努力・支援に対して評価すべきだと思う。「A」でもよいと思う。なお、目標値の1500頭の根拠は何か。 | | |
| 1-3-② | 下水道の普及促進 | 水洗化率では現状を表すことが難しいのではないかと。単年度評価であるならば、その年度に接続可能な世帯数に対してどれだけの世帯が接続したのか（もしくはしているのか）、世帯数表示にした方がわかりやすいのでは。水洗化率では高い数値が示されてしまい、問題点を明確にすることができない。 | ○ | |
| 1-3-④ | 葛川水質調査の実施 | 「環境基準達成率96%」の表記がありますが、BODの環境基準値超過が4回のうち1回あったところが7地点のうち1地点あった、ということでしょうか。「数値指標」の欄に記載の達成率の定義によれば、この地点は測定値が環境基準値内の地点には含まれないので、達成率は6/7=0.86になると思いますが、いかがでしょうか。なお、後期の数値指標であれば、96%になると思います。 | | |
| 1-3-⑤ | 葛川美化推進事業 | 評価が「B」になった説明を見ると、台風による2回の中止が理由となっているように読み取れる。台風は不可抗力であるので、会の皆さんのご努力で14回の活動ができたことを評価したほうが良い。また、回収量もその時々で違ってくる。「A」評価でもよい。 | △ | 1-2-①と同様 |

| 事業No. | 事業名 | 意見 | 事務局案 | 備考 |
|----------|----------------|--|------|----|
| 1-3-⑤ | 葛川美化推進事業 | ごみ回収量が目標値を下回ったということは、川がきれいになったため回収量が減少した、という見方もできますが、清掃活動の中止による回収量の減少分との差し引きになると思います。おそらく、評価「B」の根拠は清掃活動の中止の影響が大きいとの判断によるものと思いますが、評価のなかにそのことを記載した方がわかりやすいのではないかと思います。 | ○ | |
| 1-4-② | 松の保全事業 | 被害木がなかったことは、薬剤注入の成果でもあると思う。植樹を実施していないので評価「B」としているが、民有地以外で植樹がきる場所があったのか。もし、全てが民有地で交渉をしても植樹ができなかったのであればその努力を評価すべきだと思う。 | ○ | |
| 1-5-① | 自然環境を知るための講座開催 | 「子どもチャレンジ教室」が開催に至らなかったことは残念。今後、学校が選択できる出前講座を開設して総合的な学習の時間等に活用してもらったらどうか。 | ○ | |
| 2-1-② | 水分もうひとしぼり運動 | ごみの総排出量の低減目標の達成が大変難しくなっている、ひとしぼり運動（水分率の低下）では限界かと思われる。何か根本的対策が必要？ | ○ | |
| 2-2-① | 剪定枝チップパー機の貸出 | 剪定枝チップパーの貸出を中止し、二宮町ウッドチップセンターで処理中との事、専門の業者以外の一般市民は持込みの手段・努力を考えると費用の問題含めて極めて利用しにくい。 | | |
| 2-2-② | 生ごみ処理機の導入促進 | 生ごみ処理機の導入に際し、通年購入補助を続けて頂いたことは大変有難い。処理後の肥料としてのレベルの問題など難しい問題があるが、「ふれあい農園事業」等、事業間連携は極めて重要。大型処理機運搬中止の情報もあるが、設置効果は数値的にははっきり出るので、是非新規設置の補助をお願いしたい。 | | |
| 2-2-④ | グリーン購入の推進 | 評価Bは？ グリーン購入の意識が定着し、ほとんどが環境対策物品になっているのであれば、啓発機会は2回で十分。補助的にHP等での啓発を強化してゆくのが良い。 | | |
| 3-1(2)-② | ムダな電力消費等の節約啓発 | 目標値を達成して評価Aとなっているが、これは小学校と役場庁舎の削減量が大きかったのか。そもそも無駄があり、意識したら下がったというのであれば評価Aはいかがなものか。 | | |
| 3-5-② | 公害防止対策事業 | 環境基準達成率が83%というのは、良好な環境と思うが、音源から近距離に寝たきりの人や小学校などがあれば個別対策などをしてはいかがでしょうか？ (意見内容にて電話確認) 個別の理由による案件について町が別の対応を行うのかという質問である。 | ○ | |
| 3-5-③ | 屋外燃焼校による被害の防止 | 違反した野焼きの根絶の実現を評価目標にしているが、恐らく常習者による反復した違反行為もあるものと考えられる。枯れ草焼却などもあるので、違反行為と適合行為の区別を良く説明して理解をしていただく活動が不十分だったのではありませんか？ | | |

| 事業No. | 事業名 | 意見 | 事務局案 | 備考 |
|-------|-----|---|------|----|
| 全体 | | 29年度事業計画と30年度事業計画が全く同じで、29年度の評価がA。にもかかわらず今後の課題が示されている。どこが問題で、それを解決するためにどのような手法を取ったらよいのか、具体的に示した方がよいのでは。 | ○ | |
| 全体 | | 指標にはばらつきがあり、事業ごとの評価Aの意味が大きく異なっているように感じた。評価の公平性をなにごとで担保するのか、考える必要があるのか | ○ | |